

臨月…

もう間もなく  
腹の子が産まれる  
時期になると

ふふふ…

こころは  
All time



あは

あは

リトルガイダンス  
嚮導幼君…

自らの未熟さを  
冠した名を名乗って  
おきながら

でなければ  
最も守らねばならない  
主さまから目を離し

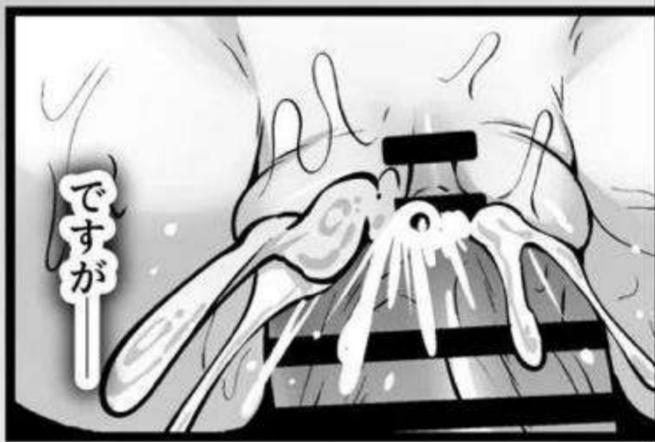
やはりわたくしの  
心のどこかに慢心が  
あったのでしょうか

その日はわたくしの  
人生で最も己の未熟さを  
呪った日でした

わたくしにとって  
それは始まりに  
過ぎませんでした

人質に取られる  
ような失態を犯すことは  
なかったはずなのですから

ですが

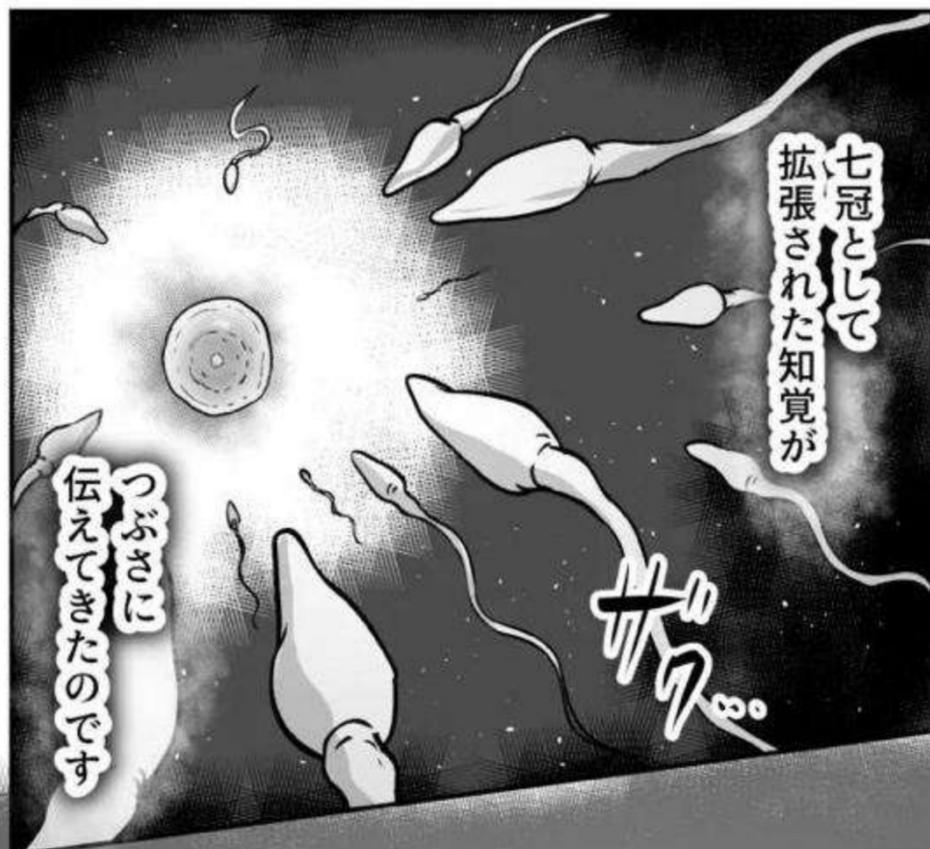




今まさに  
わたくしの  
子宮  
身体の最奥で

あ……

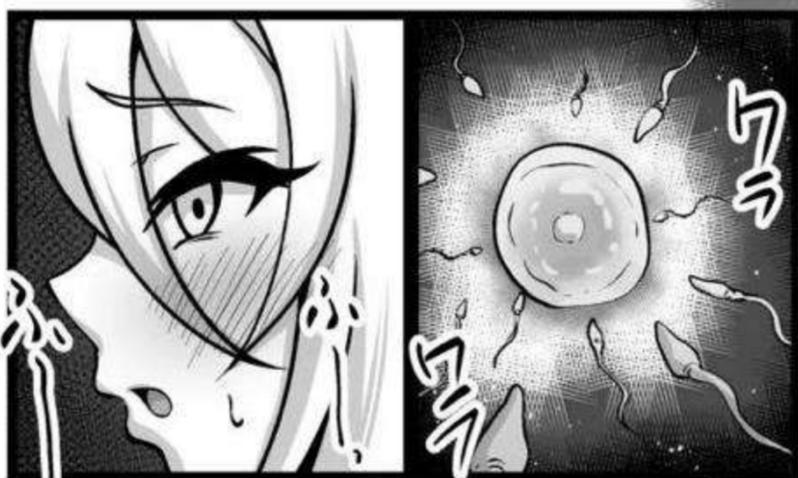
あ……



七冠として  
拡張された知覚が

つぶさに  
伝えてきたのです

アッ



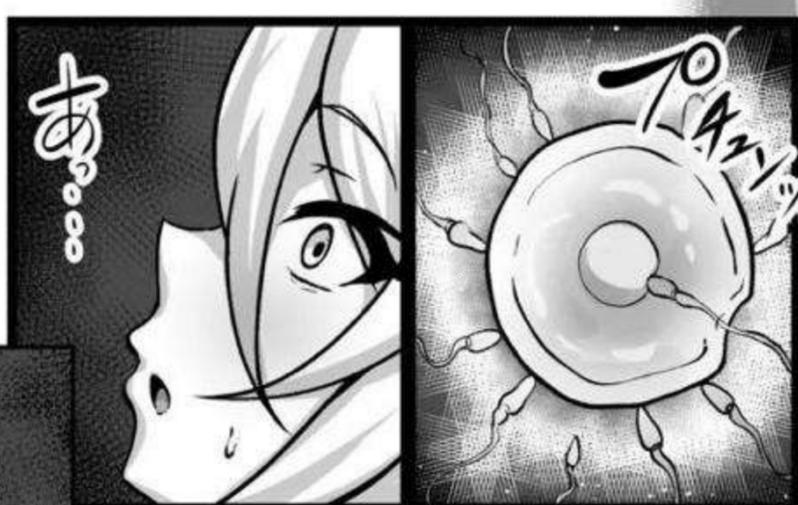
クラ

クワ



クワ

クワ



クワ

クワ



男に  
吐き出された  
精虫たちが

わたくしの  
卵子に群がり

無慈悲に  
孕ませよう  
射貫かんとする  
その様を

ため……

分かっているも  
わたくしにそれを  
止める力はなく

そして  
そのまま……

クワ

クワ

『子を宿した』と男に  
伝えても彼はわたくしを  
犯すのを止めませんでした

あれから幾日を経ても  
わたくしの身体は  
元には戻ることとはなく…

それどころか  
七冠としての力の行使すら  
ままならなくなる始末

このまじまじと  
悪趣味な  
ものさ

推測では  
ありますが…

母体となった肉体を  
守るために力の大半が  
身体の維持に  
向けられたのかも  
もしれません

元の姿に戻れず  
主さまをお助けする  
ことも叶わず…

ただわたくしは主さまを  
助けるために至った姿を  
主さまではない男に  
貪られ続けられました…

本当に  
これが…

わたしの  
なかに…

あ

んんん







おはようから

おやすみまで

あんっ



主さまの子を宿し

主さまに

『変えていただいた』  
身体を使って

あっ

はっ

主さまに  
ご奉仕する♡



ゆりかごから

棺桶まで♡

あんっ



それが主さまの  
性奴隷  
従者たるわたくしの  
務めにして

生きがいで  
ごいます♡

ああ……♡

かつてわたくしが  
『主さま』と呼んだ方へ

どうかこれからは  
ご自分のことは  
ご自分でなさいますよう



わたくしの生涯は  
わたくしの  
本当の主さまに

捧げさせて  
いただきます♡

Happy End...♡